

富士見市立針ヶ谷小学校 ○自分で考える子○助け合う子○じょうぶな子



針 小 だより

令和5年5月1日

第2号(5月号)

学校教育目標を共有する

～自分で考える子・助け合う子・じょうぶな子～

やよい広場の桜の木の新緑がまぶしい中、新しい通学班で新たな一步を踏み出す子供たち。1年生の歩く速さを確認するため何度も振り返る新班長、慣れない通学路を一生懸命歩く1年生、伝わる挨拶を目指し、一人一人がしっかり挨拶する姿に日々成長を感じます。

さてどの学校にも、学校教育目標があります。本校の学校教育目標は「自分で考える子・助け合う子・じょうぶな子」です。6年間の学びを経て目指す子供たちの姿です。

10年後、20年後、予測不可能な社会を生き抜くために、針小の子供たちにどんな力が必要でしょうか。言われたことに従順であるより、自分で考え、新たな発想ができる力が必要でしょう。そのために、自ら学習に向かい、自分に合った方法を選択しながら、学びをデザインできる子を目指していきます。

また、困難な課題を解決していくためには、様々な視点で物事を捉えられ、自分とは異なる価値観をもつ人とも協働できることが大切ではないでしょうか。そのために、多様な集団の中で、他者のよさを理解・尊重し、協働できる子を目指していきます。

そして、困難な課題にくじけることなく、乗り越えていく力が重要です。そのために、心も体もじょうぶで、やり抜く力のある子を目指していきます。

こうした力を育むために、学校教育目標をより一層具体的に示しました。学校・家庭・地域が目標を共有し、一体となって子供たちを育てていけるよう、お力添えどうぞよろしくお願い申し上げます。
(校長 本木 千穂)

○自分で考える子

→ 自ら学習に向かい、自分に合った方法を選択しながら、学びをデザインできる子

○助け合う子

→ 多様な集団の中で、他者のよさを理解・尊重し、協働できる子

○じょうぶな子

→ 心も体もじょうぶで、やり抜く力のある子

※学校経営方針・学校グランドデザインも合わせて、ご覧ください。

〈6月の行事予定〉 変更の場合があります。R5.5.1 現在

日	曜	主な行事
1	木	尿検査2次回収 委員会活動
2	金	尿検査2次回収(予備日) 1年生心電図
3	土	
4	日	
5	月	特別日課 歯みがき大会(5年)
6	火	お話朝会
7	水	特別日課4時間 13:10下校 読書タイム/読み聞かせ 新体カテスト 学校運営支援者協議会 個人面談①
8	木	特別日課4時間 13:10下校 歯科検診(4・5・6年・や) 個人面談②
9	金	特別日課4時間 13:10下校 尿検査2次回収予備日 新体カテスト予備日 個人面談③
10	土	
11	日	
12	月	特別日課 プール開き
13	火	特別日課4時間 13:10下校 けやきタイム 個人面談④
14	水	特別日課4時間 13:10下校 読書タイム/読み聞かせ 個人面談⑤
15	木	歯科検診(1・2・3年) クラブ活動
16	金	交通安全教室
17	土	
18	日	
19	月	特別日課
20	火	児童集会
21	水	特別日課 読書タイム/読み聞かせ PTA運営委員会
22	木	3校合同引き渡し訓練(5校時)
23	金	授業参観・懇談会(低)
24	土	
25	日	
26	月	特別日課
27	火	音楽朝会 授業参観・懇談会(中)
28	水	特別日課 読書タイム/読み聞かせ
29	木	クラブ活動
30	金	授業参観・懇談会(高・や)

【お知らせ】

■連休中の過ごし方について

5月初旬に連休がはさまりますが、健康安全に気をつけてお過ごしください。万一事故・事件に遭われた場合は、警察へ第一報を入れてください。

(東入間警察署 269-0110)

■クールビズ期間について

5月1日よりクールビズ期間となっています。職員もクールビズ対応させていただきますので、よろしくお祈いします

■暑さへの対策について

暖かい春の季節を迎えたと感じていたのも束の間、時折暑くなる日も増えてきています。今月末には運動会も控えており、練習のために外で過ごす時間も多くなります。学校でもこまめに水分を摂ることや暑い中で長時間運動しないこと等に配慮していきます。水筒の中身の量を多めに用意するなど、各ご家庭でも暑さへの対策をお願いします。

■今年度の学校研究について

今年度本校では、『個別最適な学びと協働的な学びによる、「未来を切り拓く力」の育成 ～ICTを活用し、全ての子どもが「学びをデザインする」授業の工夫改善』をテーマに学校研究に取り組んでいます。子どもたち一人一人の可能性を最大限に引き出すことを目指して、より良い授業を追究していきます。今年度は市の研究委嘱に加えて、パナソニック教育財団の実践研究助成も受けています。後者については、本校の実践が財団のホームページにも載る予定です。追って詳細をお伝えします。

なお、学校研究発表会を11月29日に予定しています。

■40周年記念事業について

今年度は本校が開校してから40周年を迎える記念の年です。ついては今年度一年をかけて各種記念事業を実施していきます。本事業においては「子供が主語の40周年」をテーマに取り組みを進めていきます。こちらについても詳細が決まり次第、順次お知らせいたします。

令和5年度 富士見市立針ヶ谷小学校 学校経営方針

令和5年4月3日

校長 本木 千穂

- ◇埼玉県教育振興基本計画 豊かな学びで未来を拓く埼玉教育
- ◇富士見市教育振興基本計画 学びあい人がつながり 一人ひとりが輝く 富士見の教育

I 学校教育目標

かしこく、仲良く、たくましく

○自分で考える子（知）

○助け合う子（徳）

○じょうぶな子（体）

II 学校経営方針

「一人一人の子供が主語」の学校

～子供が学びあう・育ちあう・高めあう学校～

III 目指す子供の姿

○自分で考える子

→ 自ら学習に向かい、自分に合った方法を選択しながら、学びをデザインできる子

○助け合う子

→ 多様な集団の中で、他者のよさを理解・尊重し、協働できる子

○じょうぶな子

→ 心も体もじょうぶで、やり抜く力のある子

IV 目指す学校の姿

○一人一人の子供が主語の学校

- ・子供が学びあう、育ちあう、高めあう学校
- ・誰一人取り残さず、一人一人のよさや可能性を最大限引き出す学校

○学ぶわくわく感とできた感、安心感がある学校

- ・子供が学ぶことを楽しい、できたかもと感ずる学校
- ・失敗から学べ、助け合える学級風土がある学校

○健康・安全に努める学校

- ・学校・家庭・地域の連携し、子供の健康・安全のために協働できる学校
- ・心身ともに健康でやり抜く力が育つ学校
- ・子供の視線を意識した施設設備の安全に努める学校

○子供・保護者・地域・教職員が共につくる学校

- ・子供、保護者、地域、教職員が、自分が学校をつくる大切な一員であるという当事者意識をもっている学校

○教職員が安心して本務に力を注ぎ、協働できる学校

- ・学校の本質を捉え、働き方改革を推進する学校
- ・教職員一人一人のよさを互いに認め合い、協働できる学校

V 目指す教師の姿

○一人一人の子供のよさや可能性を見出す教師

- ・一人一人のよさを認め、励まし、言葉で伝える教師
- ・多様性を認め、寄り添い、一人一人を大切にしている教師

○主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たす教師

- ・「教師が教える」から「子供が学ぶ」への転換ができる教師

○学校をつくる組織の一人として協働できる教師

- ・学校をつくる大切な一員であることを自覚し、一人一人のよさを互いに認め合い、協働できる教師

○自身も学び続ける教師

- ・10年後20年後に必要な「未来を拓く力」が育つには、教師はどうあるべきか、自身も学び続ける教師

○保護者や地域に信頼される教師

- ・保護者や地域の声に耳を傾け、誠意ある対応ができる教師
- ・教育公務員としての自覚をもち、コンプライアンスの徹底ができる教師

VI 今年度の重点

1 令和の日本型学校教育 針ヶ谷小Ver. の推進

- ・自ら学習に向かい、自分に合った方法を選択しながら、学びをデザインできる子の育成
- ・個別最適な学びと協働的な学びの日常化
- ・「GIGAスクール構想に係る富士見市教育ビジョン」のもと、STEM教育の推進、ICT機器の文房具化による学びの質の向上
- ・子供の主体的な学びを支援する伴走者としての教師への転換

2 学校・家庭・地域が共にある学校づくりの推進

- ・学校・家庭・地域が当事者意識をもって学校づくりに参画
- ・カリキュラムマネジメントの視点による、地域の教育力や資源の活用
- ・PTA、学校運営支援者協議会との連携

3 働き方改革の推進～子供と笑顔で向き合うために～

- ・働き方改革へのマインドセット、学校の本質を捉えた業務・行事の精選
- ・プロジェクト型の組織体制の構築
- ・集金業務を口座振替にし、電子化による仕事の効率化と事故防止

令和5年度 富士見市立針ヶ谷小学校 グランドデザイン

日本国憲法 教育基本法 学校教育法
学習指導要領 等

埼玉県の方針：埼玉教育の振興に関する大綱 埼玉県教育振興基本計画 埼玉県教育行政重点施策 等
富士見市の方針：富士見市教育大綱 富士見市教育振興基本計画 富士見市教育行政方針 等

児童や家庭・地域の実態
保護者や地域住民の願い 教師の願い



学校教育目標 「かしこく 仲良く たくましく」
自分で考える子(知) 助け合う子(徳) じょうぶな子(体)

「一人一人の子供が主語」の学校 ～子供が学びあう・育ちあう・高めあう学校～

こんな学校を創ります

- 一人一人の子供が主語の学校
- 学ぶワクワク感とできた感、安心感がある学校
- 健康・安全に努める学校
- 子供・保護者・地域・教職員が共につくる学校
- 教職員が安心して本務に力を注ぎ、協働できる学校

こんな子供を創ります

- 自分で考える子
→ 自ら学習に向かい、自分に合った方法を選択しながら、学びをデザインできる子
- 助け合う子
→ 多様な集団の中で、他者のよさを理解・尊重し、協働できる子
- じょうぶな子
→ 心も体もじょうぶで、やり抜く力のある子

こんな教師を目指します

- 一人一人の子供のよさや可能性を見出す教師
- 主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たす教師
- 学校をつくる組織の一人として協働できる教師
- 自身も学び続ける教師
- 保護者や地域に信頼される教師

今年度の重点

1 令和の日本型学校教育 針ヶ谷小 Ver. の推進

- 自ら学習に向かい、自分に合った方法を選択しながら、学びをデザインできる子の育成
- 個別最適な学びと協働的な学びの日常化
- 「GIGA スクール構想に係る富士見市教育ビジョン」のもと、STEM教育の推進、ICT機器の文房具化による学びの質の向上
- 子供の主体的な学びを支援する伴走者としての教師への転換

2 学校・家庭・地域が共にある 学校づくりの推進

- 学校・家庭・地域が当事者意識をもって学校づくりに参画
- カリキュラムマネジメントの視点による、地域の教育力や資源の活用
- OPTA、学校運営支援者協議会との連携

3 働き方改革の推進 ～子供と笑顔で向き合うために～

- 働き方改革へのマインドセット、学校の本質を捉えた業務・行事の精選
- プロジェクト型の組織体制の構築
- 集金業務を口座振替にし、電子化による仕事の効率化と事故防止